

# 2019年度 運営に関する計画

## 学校教育目標

人間尊重の教育を基盤とし、個性を生かし、豊かな人間性を  
育て、たくましく生きる力をはぐくむ教育を推進する。

### 学力の向上

基礎・基本の定着

### 道徳心・社会性の育成

豊かな人間性や生きる力を育む

### 健康・体力の保持増進

健康な生活習慣の確立、食育

### 特別支援教育の充実

生徒の自立や社会参加に向けての支援

大阪市立墨江丘中学校

平成31年4月

## 1 学校運営の中期目標

### 現状と課題

- ・H29・30年度実施の「全国学力・学習状況調査」における成績、調査結果から見られる、次のような現状から、引き続き次の課題を設定する。
  - （1）国語においては、大阪府平均とほぼ等しい。全国平均に比べると改善が必要である。A・B問題とも1～2.5ポイント程度と下回る。さらなる言語活動の充実を意識した授業展開、習熟度別少人数授業等といった授業形態の工夫、「振り返りプリント」や「東書Webライブラリー」の活用で、生徒の基礎的学力向上を図り、全国平均値に並ぶまたは上回りたい。
  - （2）数学においては、正答率において大阪府平均を上回っており、全国平均値をも上回る状況にある。指導効果が顕著に見られる。習熟度別の授業の効果を今後も期待し、質問項目での「数学の授業が好き、内容がよくわかる」といった学習動機を向上させる授業展開で、活用力、応用力をしっかりとつけさせる。数値的には、全国平均値を上回ってほしい。
  - （3）学習状況、意識調査の結果から、学力向上の視点からは全国平均に比べて見劣りがみられる、家での学習時間の不足について、その定着および時間の確保をさせたい。また社会性、規範意識の観点では、規則を守ると回答した割合が、ほぼ全国平均値並みであるので、全体として向上させる。
- ・H29・30年度実施の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」における成績、調査結果から見られる、次のような現状から改めて課題を設定する。意識調査で面で、運動やスポーツをすることに前向きであり、大切であると考えている生徒が多く、興味・関心が高い。その観点から、運動、スポーツの楽しさを、授業や部活動を通して実体験させ、意識向上を図り、生涯にわたって運動に親しむ環境づくりや運動を積極的かつ能動的に行うための授業づくりを大切にする。またお互いに考え、学びあえる場として、部活動では、運動部に限らず、学校全体の活性化に向けて、元気あふれる学校の雰囲気を作り上げる。部活動加入率を、85%以上を目指す。
- ・H30年度実施の「大阪市英語力調査」の結果から、改めて課題を設定する。

今後の課題として、4技能の発達、客観テスト（英語能力試験など）の結果向上へ向けて、東書Webライブラリーの活用や「書く→覚える→小テストの実施」といった定着のための「繰り返し学習」を多く取り入れる。また、C-NETを活用した実践的な英語力、英検対策や国際交流など英語イノベーション事業に結びつく、実践的な英語力の向上につなげたい。そのため現在行っているスピーキングテストなどにも力を入れて取り組む。
- ・総合的な視点からの学校課題

本校における現状をまとめると、学習に対する意識度は概ね高く、それを持続させるため、目標設定と意識化を明確にさせたい。運動、スポーツに対する関心、意識も高いので、学校全体としては、いわゆる文武両道を通じた総合的な力「人間力（考える力、優しさ、我慢強さ）」を持って力強く生き抜く生徒育成を目標とし、学校経営の中で、学習活動の充実とともに部活動の活性化、運動意識の向上も図りたい。部活動の活性化は学力向上や生活習慣と強く連携している部分でもあるので、規則正しい生活リズムで生まれる、学習意識の向上を期待したい。また、生徒意識の中で生まれる、互助的、協力的精神の育成は、学校内の友人関係の良好さを保つものに限らず、地域を支えて下さる皆さんにも向けた幅広い社会性を持った協調的なものでなければならない。

## 中期目標

### 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

- 平成32年度の全国学力・学習状況調査における「学校の規則を守っていますか」の項目について、肯定的回答の割合を100%となるよう目指す。
- 平成32年度の全国学力・学習状況調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の項目について肯定的回答の割合を100%となるよう目指す。
- 平成32年度の学校アンケート（保護者対象）における「子どもたちは学校生活を楽しんでいますか」の項目について肯定的回答の割合を95%以上となるよう目指す。
- 平成32年度の学校アンケート（保護者対象）における「子どもたちは落ち着いて学校生活を過ごしていますか」の項目について肯定的回答の割合を95%以上となるよう目指す。
- 平成32年度の学校アンケート（保護者対象）における「学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいますか」の項目について肯定的回答の割合を85%以上となるよう目指す。

・部活動の入部率は運動部、文化部を合わせて85%以上である。この高い数値を維持するよう、部活動の活性化を図るため、各部で使用する用具、器具等の充実に努め、地域との交流も深める。

### ＜基本概念＞

学校生活の安定化は、全ての学校活動の大前提である。即時的に生活指導、生徒管理を厳しくすることではなく、常に物事の善悪を明確にすること、折々のけじめがつけられること、こういった基本的、恒常的指導が学校安定の基礎固めとなる。この基礎はやがて、授業の活性化や部活動の活発さとなって発展し効果を表す。この学校生活の安定化は、すべての学校命題である学力向上、体力向上に寄与することはいうまでもない。そのための取り組みとして子どもたちとのコミュニケーションの重要性、教師の信頼感の獲得は子どもに接する学校教職員にとって不可欠なものと言える。

### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

- ・平成32年度の全国学力・学習状況調査における「家で自分で計画を立てて勉強していますか」の項目について、肯定的回答の割合を60%以上となるよう目指す。
- ・平成32年度の全国学力・学習状況調査における「家で学校の授業の復習をしていますか」の項目について、「している（どちらかといえばしている）」と答える生徒の割合を50%以上に向上させる。
- ・平成32年度の全国学力・学習状況調査における「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」の項目について、肯定的回答の割合を70%以上にする。
- ・平成32年度の生徒アンケートにおける「学校の授業はわかりやすい」と答える生徒の肯定的割合を80%以上にする。
- ・平成32年度末の生徒アンケートにおける「授業の内容が理解できている」と答える生徒の肯定的割合を80%以上にする。
- ・朝の読書・図書館の活用、図書館ボランティアの協力などにより、読書活動を充実させることで、平成32年度の生徒アンケートにおける「読書は好きですか」の項目について肯定的回答の割合を65%以上にする。
- ・特別支援教育の充実—H32年度まで、さらに多様な個人に応じた指導を充実させるため、教育環境に十分配慮し、整った施設環境の中で、個人にまた個別に対応した学習、進路を保障していく。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

### 【子どもが安心して成長できる安全な社会（学校園・家庭・地域）の実現】

#### 全市共通目標（中学校）

- 1) 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。
- 2) 校内調査における、「学校の決まり、規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる（どちらかといえば、当てはまる）」と答える肯定的回答の割合を85%以上にする。
- 3) 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒の数を前年度より減少させる。
- 4) 年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。

#### 学校園の年度目標

○本年度の校内アンケートにおいて、下記項目について、それぞれの設定目標数値以上を目指す。

- 1) 「クラス・学校は楽しい」の項目について、肯定的回答を80%以上とする。
- 2) 「普段から、あいさつを積極的にしている」の項目について、肯定的回答を85%以上とする。
- 3) 「清掃活動などの班活動に協力し、校内美化に努めている」の項目について、肯定的回答を80%とする。
- 4) 「人を傷つけるような言葉や、行動に対して腹が立つ」の項目について、肯定的回答を85%以上とする。
- 5) 「自分のことを、理解してくれる先生がいる」の項目について、肯定的回答を60%以上とする。

### 【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】

#### 全市共通目標（中学校）

- 1) 中学生チャレンジテストにおける標準化得点を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- 2) 中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3%程度減少させる。
- 3) 中学生チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回れる生徒の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3%程度増加させる。
- 4) 校内調査における、「学級の友達との話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。
- 5) 本年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、男子は、大阪市、全国を上回る総合得点、女子は－1ポイント以内にまで向上させる。

#### 学校園の年度目標

○本年度の校内アンケートにおいて、下記項目について、それぞれの設定目標数値以上を目指す。

- 1) 「学習している内容がわかる、理解しやすい授業だ」の項目について、肯定的回答を80%以上とする。
- 2) 「宿題も含め、予習復習など学校外での学習を、よく行っている」の項目について、肯定的回答を70%以上とする。
- 3) 「先生は授業外で、補充学習をしてくれる」の項目について、肯定的回答を60%以上とする。
- 4) 「現在も、これからも誰かの役に立ちたいと思っている」の項目について、肯定的回答を80%以上とする。
- 5) 「部活動に、積極的に取り組んでいる」の項目について、肯定的回答を70%以上とする。
- 6) 「弁当・選択給食等、昼食を残さず食べている」の項目について、肯定的回答を80%以上とする。

## 大阪市立墨江丘中学校 平成30年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p><b>【子どもが安心して成長できる安全な社会(学校園・家庭・地域)の実現】</b></p> <p><b>全市共通目標(中学校)</b></p> <p>1) 年度末の校内調査において、学校で認知したいじめについて、解消した割合を95%以上にする。</p> <p>2) 校内調査における、「学校の決まり、規則を守っていますか」の項目について、「当てはまる(どちらかといえば、当てはまる)」と答える肯定的回答の割合を85%以上にする。</p> <p>3) 年度末の校内調査において、暴力行為を複数回行う加害生徒の数を前年度より減少させる。</p> <p>4) 年度末の校内調査において、新たに不登校になる生徒の割合を前年度より減少させる。</p> <p><b>学校園の年度目標</b></p> <p>○本年度の校内アンケートにおいて、下記項目について、それぞれの設定目標数値以上を目指す。</p> <p>1) 「クラス・学校は楽しい」の項目について、肯定的回答を80%以上とする。</p> <p>2) 「普段から、あいさつを積極的にしている」の項目について、肯定的回答を85%以上とする。</p> <p>3) 「清掃活動などの班活動に協力し、校内美化に努めている」の項目について、肯定的回答を80%とする。</p> <p>4) 「人を傷つけるような言葉や、行動に対して腹が立つ」の項目について、肯定的回答を85%以上とする。</p> <p>5) 「自分のことを、理解してくれる先生がいる」の項目について、肯定的回答を60%以上とする。</p> <p><b>【心豊かに力強く生き抜き未来を切り拓くための学力・体力の向上】</b></p> <p><b>全市共通目標(中学校)</b></p> <p>1) 中学生チャレンジテストにおける標準化得点を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。</p> <p>2) 中学生チャレンジテストにおける得点が府平均の7割に満たない生徒の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3%程度減少させる。</p> <p>3) 中学生チャレンジテストにおける得点が府平均を2割以上上回れる生徒の割合を同一の母集団で比較し、いずれの学年も前年度より3%程度増加させる。</p> <p>4) 校内調査における、「学級の友達との話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、肯定的に回答する生徒の割合を、前年度より増加させる。</p> <p>5) 本年度の全国体力・運動能力、運動習慣調査において、男子は、大阪市、全国を上回る総合得点、女子は、-1ポイント以内にまで向上させる。</p>	

#### 学校園の年度目標

○本年度の校内アンケートにおいて、下記項目について、それぞれの設定目標数値以上を目指す。

- 1) 「学習している内容がわかる、理解しやすい授業だ」の項目について、肯定的回答を80%以上とする。
- 2) 「宿題も含め、予習復習など学校外での学習を、よく行っている」の項目について、肯定的回答を70%以上とする。
- 3) 「先生は授業外で、補充学習をしてくれる」の項目について、肯定的回答を60%以上とする。
- 4) 「現在も、これからも誰かの役に立ちたいと思っている」の項目について、肯定的回答を80%以上とする。
- 5) 「部活動に、積極的に取り組んでいる」の項目について、肯定的回答を70%以上とする。
- 6) 「弁当・選択給食等、昼食を残さず食べている」の項目について、肯定的回答を80%以上とする。

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

取組内容①【施策1 安全で安心できる学校、教育環境の実現】		進 捗 状 況
生活指導部		
取組内容①		
学期に1回いじめアンケートを実施し、安心ルールについて集会等で周知し、安全で安心した学校生活を送ることができるように環境を整える。(基盤としての学校安心ルール)		
指標 2019年度の校内調査における、「学校の決まり、規則を守っていますか」の項目について、肯定的回答の割合を、90%以上にする。(基盤としての学校安心ルール)		
取組内容②		
全校集会、学年集会等でいじめ・暴力行為防止対策(SNSなども含む)についての講話、指導を行い、啓発、をはかる。(いじめ・暴力行為等防止対策)		
指標 全校集会、学年集会等でいじめについての講話、指導を学期に1回以上行い、啓発をはかり、根絶をめざす。また、いじめの手段が常に変化していくため、時代に応じた対策を模索する。(いじめ・暴力行為等防止対策)		
年度目標の達成状況の結果と分析		
① (基盤としての学校安心ルール)		
② (いじめ・暴力行為等防止対策)		
次年度への改善点		
① (基盤としての学校安心ルール )		
② (いじめ・暴力行為等防止対策)		

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

取組内容③【 施策5 子ども一人ひとりの状況に応じた学力向上への取組 】		達成状況
特別支援教育	<p>＜取組内容＞</p> <p>生徒一人ひとりの状況や学力を把握することにより、個に応じた学習指導を行い、また ICT を活用し学力の向上を目指す。</p>	
	<p>＜指 標＞</p> <p>不登校生の登校を呼びかけていく。</p> <p>抽出授業では一人一人の状況に応じた指導方法で基礎学力の徹底を図り学力の向上に取り組む。また、入り込み授業では学力の向上はもちろんのこと、自尊心、自己肯定感につながるサポートも意識的に行う。</p>	
	＜年度目標の達成状況の結果と分析＞	
	＜次年度への改善点＞	
教員研修	<p>＜取組内容＞</p> <p>全教員が研究授業・授業参観を行い、授業力の向上に取り組む。 (「主体的・対話的で深い学び」の推進・学校力UP ベース事業)</p>	
	<p>＜指 標＞</p> <p>全教員が年1回以上の研究授業を行い、研究協議も併せて実施することで授業力向上に努める。また、相互授業参観を年2回以上おこなう。</p>	
	＜年度目標の達成状況の結果と分析＞	
	＜次年度への改善点＞	

取組内容④【 施策3 道徳心・社会性の育成】 (道徳教育の推進)	進捗状況
<p>年度目標の達成に向けた取組内容</p> <p>生徒が道徳科の学習について流れを把握でき、見通しをもつことができる。</p> <p>生徒が主体的に楽しく道徳科の学習に取り組めるよう、意欲を引き出し、励ます。</p>	
<p>取組の進捗状況を測る指標</p> <p>「総合的な学習」「道徳科」の時間などを十分活用できるように、人権・道徳教育委員会の充実や進路委員会との連携を図る。年間35時間以上の道徳をローテーションで実施。学年全員の教師が関わる。</p>	
<p>年度目標の達成状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	



評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

取組内容⑤【施策7 地域に開かれた学校作りと生涯学習の支援】 (学校図書館の充実)	進捗 状況
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、</p> <p>学校図書館の活用として、導入になっている「読書通帳機」の活用を図る。</p> <p>通帳活用率を全生徒の30%以上となるよう普及を図る。</p> <p>読書量の増加率を前年比10%以上を目指す。</p>	
<p>取組の進捗状況を測る指標</p> <p>数値目標設定の検証を図り、図書館貸出図書冊数などの稼働率などデータ考査も行う。</p>	
<p>年度目標の達成状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

取組内容⑥【施策7 地域に開かれた学校作りと生涯学習の支援】 (保護者や地域住民に開かれた学校園の運営・生徒指導主事)	進捗 状況
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、</p> <p>地域行事に生徒自ら地域の構成メンバーとしての自覚に立ち積極的に参加する。</p> <p>地域小学校との連携と学校ホームページの活性化を深め、地域に住民に開かれた学校運営を進める。</p>	
<p>取組の進捗状況を測る指標</p> <p>学校ホームページの閲覧数、投稿数を増やす。地域行事の生徒参加率を高める。</p>	
<p>年度目標の達成状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

取組内容⑦ 【 施策 4 国際社会において生き抜く力の育成】 (英語教育の強化)	進捗 状況
<p>年度目標の達成に向けた取組内容</p> <p>継続して本校姉妹校（台湾）との交流を継続、深化させる。台湾とは派遣受け入れ交流を実施する。</p> <p>交流を通して、国際社会に必要とされる英語能力と近隣国の国際理解を目指す。</p>	
<p>取組の進捗状況を測る指標</p> <p>台湾との交流の実施。</p>	
<p>年度目標の達成状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

取組内容⑧ 【 施策 6 健康や体力を保持増進する力の育成 】 (健康に関する現代的課題への対応・食育の推進)	進捗 状況
<p>年度目標の達成に向けた取組内容</p> <p>保健だよりや食育通信、教科と連携し、ほぼ毎日朝食を食べる生徒が 90%以上になるように、朝食を食べることが大切であることを発信する。</p> <p>保健委員会活動を活発化し、手洗い実験・AED・熱中症対策講習会などを実施することで健康意欲を高める。</p> <p>(健康に関する現代的課題への対応・食育の推進)</p>	
<p>取組の進捗状況を測る指標</p> <p>朝食調査を実施する。また、保健だよりを年 6 回以上発行する。</p>	
<p>年度目標の達成状況の結果と分析</p>	
<p>次年度への改善点</p>	

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

取組内容⑨【 施策6 健康や体力を保持増進する力の育成 】		進捗 状況
(子どもの体力・運動能力向上のための取組の充実)		
年度目標の達成に向けた取組内容 この時期に発育・発達する骨、筋肉、呼吸・循環器に重点を置き、より一層の発育・発達を図る。		
取組の進捗状況を測る指標 休み時間内に授業をスタートし、毎時間ウォーミングアップで各学年充分なランニングと補強運動を行い、授業時間と運動量を確保する。		
年度目標の達成状況の結果と分析		
次年度への改善点		